

Call for Panellists!!

2011 年“希望と平和”日本語サミット(第 13 回)

～世界の日本語学習者の登竜門～

代表パネリスト(15～27 歳)募集のお知らせ

Let's Discuss "Hope and Peace" Together in Japanese in Japan

特定非営利活動法人 ジャパン・リターン・プログラム 企画主催

2011 年“希望と平和”日本語サミットを開催致します。

JRP では毎年世界の日本語を修得している外国籍青少年[ジュニアの部:15 才から 19 才、シニアの部:20 才から 27 才]をパネリストとして選抜し、日本にご招待する「日本語サミット」を開催しております。期間中は、日本語で意見発表する「日本語サミット」のほか、日本の高校生・大学生とのディスカッションや、ホームステイ、伝統文化体験等のプログラムに参加していただけます。ぜひこの機会に日本語サミットにチャレンジして下さい。たくさんのご応募お待ちしております!!

I. 日本語サミット日程(予定)

【期間】

2011 年 6 月 15 日(水)～7 月 19 日(火)の 35 日間 東京・地方都市(1ヶ所)にて開催予定

※日程詳細は 2011 年 1 月末(予定)パネリスト決定後発表します。上記日程は事情により変わることがあります。

II. 募集対象者

日本語サミットの趣旨・開催目的(HP参照のこと)を理解し、日本語で意見の発信ができる者
ジュニア・シニアの部 各1ヶ国1名(計 16 カ国～20 ヶ国)の選考を予定しております

【応募資格】

ジュニアの部 年齢 15 才～19 才

- ① 来日時点で高校・大学在学者、またはそれに準ずる日本語教育機関に在籍している者(在籍証明書が取得でき、日本語指導教官がいること)
- ② 年齢 15 才～19 才(2011 年 6 月 30 日時点で 15 才～19 才までの男女)
- ③ 両親が日本人(日本国籍)ではない者(片方の親が日本国籍所有者の場合は応募可能です。)
- ④ 日本語サミット開催直前に来日予定のない者
- ⑤ 規定の作文課題を漢字かな混じり文にて書くことができ、且つそれを議論できる口頭能力を有する者(日本語能力試験3級レベルが目安)
- ⑥ 上記日程全てに参加できる者(来日・帰国日は事務局の指定になります。自国での試験日程などと重ならないよう注意すること。また航空便の状況によりサミット日程と来日・帰国日は異なることがあるため、サミット日程の前後は余裕を持たせること。)
- ⑦ サミット期間中日本語で会話し、日誌を書くことができる者、またその体力・精神力のある者
- ⑧ 「日本語ブラッシュアップ、及び日本へのより深い理解」という本プログラムの目的を理解し、規則を遵守できる者
- ⑨ 参加終了後も“運営委員”“オールドパネリスト(OP)”として JRP ネットワーク構築に寄与できる者

シニアの部 年齢 20 才～27 才

- ① 来日時点で大学・大学院在籍者、またはそれに準ずる日本語教育機関に在籍している者(在籍証明書が取得でき、日本語指導教官がいること)
- ② 年齢 20 才～27 才(2011 年 6 月 30 日時点で 27 才までの男女)
- ③から⑨はジュニアの部と共通

※その他、応募資格の面など不明な点がある場合は必ず事務局にご相談ください。

Ⅲ. 参加費用(ジュニア・シニアの部とも共通)

【以下の参加費用はJRP負担】

- ① 国際線往復渡航費用(事務局指定の離発着主要都市から日本まで)
- ② 当法人作成スケジュール内の国内線航空費用
- ③ 公式日程中の参加経費・滞在ホームステイ費用(朝夕食含む)

【自己負担費用】

- ① 自宅から事務局が指定した国際線発着空港までの交通費
- ② 全参加者、参加費用3万円(来日時空港にて徴収)。その他に自由日程時諸費用・昼食代・通院治療費・国際電話代・ホームステイ先から日程会場までの交通費・写真現像代等の費用として3万円程度。お土産など買いたい場合はそれ以上にかかるので余裕をもってくること。
- ③ 海外旅行保険(疾病・事故全般に対応するもの)は自国で事前に自己負担で加入していただくこと(病気・事故は基本的に自己責任においての管理が求められます)
- ④ 来日ビザ・飛行機乗り継ぎ地トランジットビザ申請にかかる費用(国により申請が必要)
※国によっては奨学金支給が可能となる場合があります。奨学金については、個別にご相談に応じます。自己負担金の中で応募を躊躇する場合にも事務局にご相談ください。

Ⅳ. 応募方法 課題と締め切り **※応募の際は事前に事務局にお知らせください。**

ジュニアの部

1. 一次選考課題と提出物: **一次選考締切日: 2010年10月30日(土)事務局郵送必着**

- ① “希望と平和”というテーマで書いた日本語による【自筆】作文
◆ 字数は400字詰め原稿用紙4枚程度(1600字~2000字)とすること。
◆ 自分の体験をもとに、自分の意見を具体的に書くこと。
◆ 引用をする場合には出典を明記すること。
◆ 参考文献がある場合も、提示すること。
 - ② JRP 指定の応募用紙(事務局に問い合わせるか、JRP のホームページからダウンロードできます。来日経験、来日予定のない者は「A応募用紙」、来日経験者あるいは2011年6月までに来日予定のある者は「B応募用紙」に記入)
◆ 代筆は認めません。必ず本人による手書きとすること。
 - ③ 自己紹介文(400字~600字程度・自筆)
 - ④ 現在使っている日本語の教科書のコピー数枚(表紙と、現在勉強している箇所のページ)
 - ⑤ 証明写真3枚(縦5cm×横4cm)と家族全員の写真1枚、友人との写真などそちらでの生活が分かるもの2枚(裏に誰とどのようなときに撮影されたのかを記述のこと)
- ※①~③はFAXまたはメール添付にて事前に送付してください。

2. 一次選考結果発表: **2010年11月19日(金)予定**

3. 二次選考: **二次選考締切日: 2010年12月10日(金)事務局郵送必着**

- ① 一次選考で入選した作文要旨をプレゼンテーションしている画像・音声をビデオテープ(VHS、Mini DV または CD-R)に3分程度収録し、上記期日までに提出。(3ページの【画像・音声の提出に関する注意事項】を必ず参照すること。
- ② 日本語応募作文を指導した担当教師の方にご記入いただく「応募者の日本語レベル」についての質問表があるので、プレゼンテーションビデオに同封すること

※電話によるインタビューテストを行う可能性もあります。

4. 最終審査(専任選考委員による審査): **1月初旬予定**

5. パネリスト発表: **2011年1月末予定**

シニアの部

1. 一次選考課題と提出物: **一次選考締切日: 2010年10月30日(土) 事務局郵送必着**

① 希望と平和”というテーマで書いた日本語による【自筆】作文

◆ 字数は400字詰め原稿用紙5枚程度(2000字～2400字)とすること。

◆ 自分の体験をもとに、自分の意見を具体的に書くこと。

◆ 引用をする場合には出典を明記すること。

◆ 参考文献がある場合も、提示すること。

② 自己紹介文(400字～600字程度・自筆)

② JRP 指定の応募用紙(事務局に問い合わせるか、JRP のホームページからダウンロードできます。来日経験、来日予定のない者は「A応募用紙」、来日経験者あるいは2011年6月までに来日予定のある者は「B応募用紙」に記入)

◆ 代筆は認めません。必ず本人による手書きとすること。

④ 現在使っている日本語の教科書のコピー数枚(表紙と、現在勉強している箇所のページ)

⑤ 証明写真3枚(縦5cm×横4cm)と家族全員の写真1枚、友人との写真など、そちらでの生活が分かるもの2枚(裏に誰とどのようなときに撮影されたのかを記述のこと)

※①～③はFAXまたはメール添付にて事前に送付してください。

2. 一次選考結果発表: **2010年11月19日(金) 予定**

3. 二次選考: **二次選考締切日: 2010年12月10日(金) 事務局郵送必着**

① 次選考で入選した作文要旨をプレゼンテーションしている画像・音声をビデオテープ(VHS、Mini DVまたはCD-R)に3分程度収録し、上記期日までに提出。(3ページの【画像・音声の提出に関する注意事項】を必ず参照すること。

② 本語応募作文を指導した担当教師の方にご記入いただく「応募者の日本語レベル」についての質問表があるので、プレゼンテーションビデオに同封すること

※電話によるインタビューテストを行う可能性もあります。

4. 最終審査(専任選考委員による審査): **1月初旬予定**

5. パネリスト発表予定: **2011年1月末予定**

※上記選考日程は、予定になります。随時ホームページより確認してください。

【画像・音声の提出に関する注意事項】

① 口頭能力を測るためのものですので、原稿を読み上げたりしないこと

② 音声は画像と同時録音すること(音声を後付けするなどの編集しないこと)

③ 暗記したものを発表するのではなく、できるだけ自然なスピーチ・プレゼンテーションとすること

④ 自己紹介を多少入れること

⑤ 送る前に必ず映っていること・音声は明確に聞き取れることを確認すること

⑥ 郵送の前に自分用にコピーをとっておくこと

提出書類に記載されている個人情報、選考のためのみに使用し、それ以外の用途には一切使用いたしません。

なお、応募書類の返却はできかねますのでご了承ください。

V. 応募に際しての注意事項

① 応募後に急遽来日するなど条件が変更になった方は、速やかに事務局に連絡してください

② 日本語サミットと同時期に日本でされる招聘プログラムに重複しての応募や、日本語サミット期間前に日本への留学を予定している方、及び留学手続きをしている方はご遠慮ください

③ 友人や教師に作文指導やアドバイスを受けたときは、正直に申告してください

④ 「応募作文は必ず自分の考えを自分の力で書く」という約束が守られなかった場合は、招待にかかる費用全額が請求され、当該国からの招待も凍結という処置がとられます

⑤ 滞在中は、日本の政財界リーダーとの面会や国会議員との懇談会、マスコミの取材などが予定されますので、自国の代表にふさわしいマナーや行動が要求されます。表敬訪問・日本伝統文化体験では滞在中、フォーマルな服装が必要です

⑥ 日程など随時変更する可能性がありますので、必ずホームページで確認してください

⑦ 参加するための経済的負担があることをご承知ください

VI. 共催 日本経済新聞社 VII. 後援(予定) 外務省 文化庁 国際協力機構(JICA) 日本放送協会(NHK) 東京都 他

VIII. 主催・連絡先

特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム(JRP)事務局

〒107-0052 港区赤坂 2-19-8 赤坂二丁目アネックス 4F

Tel 81-3-3589-3587 Fax 81-3-3589-3573 E-mail: jrp@bna.co.jp http://www.nihongo.or.jp/